

うちなだ 議会だより



ピックアップ

新型コロナウイルス対策 令和2年5月会議・6月会議 …… 2 - 3

旧消防庁舎跡地の有効活用計画

賛成少数で再考へ 総務産業建設常任委員 …… 6

学校コロナ対策で

一般会計補正予算案を否決 文教福祉常任委員会 …… 6

一般質問 7人が登壇 …… 7 - 14

Vol.142

令和2年(2020)

8月5日発行



可決された 対策の主な事業はこちら!

ひとり親家庭等応援 臨時給付金事業

299万円

ひとり親家庭等へ1世帯あたり
1万円を給付する。
対象は290世帯。

子育て世帯 臨時特別給付金事業

3744万円

児童手当に1万円上乘せし、
給付する。
対象児童は3600人。

元気内灘住宅リフォーム 助成金

1000万円

地域経済の活性化を目的に、住宅
リフォーム工事に係る費用の一部
を補助する。

対象工事 50万円以上
助成内容 工事費の20%

(限度額20万円)

水道料金の 基本料金の減免

3000万円

減免期間は6月使用分から9月使
用分までの4カ月分。減免金額
5800万円、一般会計から水道事
業会計へ3000万円を補助する。

令和2年5月会議を5月12日に開催し、専決処分の承認10件、補正予算、条
例改正、契約の締結、財産の取得など計7件を可決しました。また、令和2
年6月会議を9日から17日までの9日間開催し、初日に令和2年度一般会計・
特別会計・事業会計補正予算、条例の改正など15議案が提出されました。
議案は各常任委員会審議を経て全議案を可決し、請願1件を採択しました。
続いて、人事案件2件に同意しました。

感染対策の財源に

議員報酬及び視察研修費の減額

総額 ▲624万円

①報酬月額を5月から12月まで8カ月間
10%減額 ▲372万円

②常任・特別委員会及び議会運営委員会
の視察研修中止 ▲252万円

常勤特別職給料の減額

町長、副町長及び教育長の給料月額を5
月から令和3年3月まで11カ月間10%
減額 ▲229万円

ピックアップ

令和2年5月会議・6月会議で 新型コロナウイルス

マスク全世帯配布事業

2740万円

不織布マスク（1箱50枚入り）を町内各家庭に配布する。
（引換券、郵送料など事務手数料を含む）

子育て応援 臨時給付金事業

4354万円

18歳以下の子ども1人当たり1万円を給付する。
対象は4280人。

プレミアム付商品券 支援事業補助金

2200万円

商工会が実施するプレミアム付商品券事業の支援で、プレミアム分（+20%）を補助する。

事業持続化 緊急支援給付金

2000万円

国の持続化給付金の対象とならない事業者等の事業継続を支援するため、売上の減少率が前年同月比30～50%の事業者に対し10万円を支給する。

内灘町議会 新型コロナウイルス対策本部設置

新型コロナウイルス感染者数は全国的に急増し、政府は「緊急事態宣言」を4月7日に7都府県に発令した。その後、緊急事態宣言の対象を全国に拡大すると同時に石川県を含む6道府県を、「特定警戒都道府県」に位置づけた。

こうしたことから、内灘町議会としても町民の命と健康、生活を守るため、町の対応と足並みを揃えつつ、新型コロナウイルス対策が充実することを目的として、全議員で構成する「内灘町議会新型コロナウイルス対策本部」を4月24日に設置した。

町に緊急支援の実施を求める要望書を提出！ 令和2年5月1日

- ① 18歳以下の全町民に1万円給付を
- ② 収入が減少し、生活に困窮する低所得者への支援策を
- ③ 売り上げが減少した商工業者への支援策を

令和2年5月・6月会議で可決された主な事業

マイナポイント事業

マイナンバーカードを利用したキャッシュレス決済を通じてポイントを付与する制度。

詳しくはこちら→



心身障害者医療助成事業

県の医療費助成制度の改正に伴い、町の制度対象者に精神障害者保険福祉手帳1級の交付者を加える。

施行日は令和2年10月1日

5月会議

補正予算

(全員賛成)

一般会計(第2号)

1億1890万円の増額、総額123億2130万円。

契約の締結

(全員賛成)

内灘町立小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事
契約金額 7345万8000円

契約相手 株式会社石川コンピュータ・センター
工期 令和3年3月26日

大根布小学校大規模改修工事(建築・1期)
契約金額 1億945万円

契約相手 鈴木建設株式会社
工期 令和2年12月18日

文化会館改修工事(第3期)
契約金額 1億7050万円

契約相手 株式会社豊蔵組
工期 令和2年12月23日

財産の取得

(全員賛成)

不織布マスク(50枚入り)
1万2000箱
契約金額 2508万円

契約相手
ダイワ通信株式会社

6月会議

補正予算

(賛成8人・反対4人)

一般会計(第3号)

530万円の増額、総額123億2660万円。

条例の改正

(全員賛成)

条例名は省略してあります。
職員の特殊勤務手当に関する条例

新型コロナウイルス感染症の防疫作業等に従事した職員に対し、特殊勤務手当を支給する。

税条例

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、地方税法ほか関係法令の一部改正により、徴収猶予制度の特例及び固定資産税の軽減措置等を設ける。

国民健康保険条例

新型コロナウイルスに感染するなど、一定要件を満たした被用者に対して傷病手当金を支給する。

人事案件

(全員賛成)

固定資産評価審査委員会委員



高桑真知子氏
(再任 鶴ヶ丘)

農業委員会委員



生田 勇人氏
(再任 宮坂)



一枚田美子氏
(再任 白帆台)



夷藤 満氏
(再任 向栗崎)



岩崎 正信氏
(再任 室)



おのどう 正博氏
(再任 大根布)



川辺 俊一氏
(再任 西荒屋)



寺西 護氏
(再任 向栗崎)



中居 治雄氏
(再任 宮坂)



中林 勝氏
(新任 湖西)



八田 精三氏
(再任 西荒屋)



三原左喜男氏
(再任 大根布)



宮本 浩嗣氏
(再任 宮坂)

おみつだしち 副議長に七田満男氏

6月会議の初日、生田勇人氏が副議長を辞職したことに伴い、副議長に七田満男氏が選出されました。



プロフィール
生年月日
昭和28年1月18日

初当選
平成27年4月、現在2期

活動歴
総務産業建設常任委員会
委員長、文教福祉常任委員会
副委員長、決算特別委員
会副委員長

好きな言葉
一生青春

総務産業建設常任委員会委員長・議会運営委員会委員に
小谷 一也氏
文教福祉常任委員会副委員長に
西尾 雄次氏

文教福祉常任委員会委員に
七田 満男氏

請願の審査

採択

石川県における精神障害者の医療費助成について

(全員賛成)

◎請願者

「石川県における精神障害者の医療費助成制度の創設を求める連絡協議会」、「私たちのための精神保健医療福祉を考へる会」

代表 松原 三郎 他7名

◎紹介議員

恩道 正博

要旨

多くの精神障害者は経済的に困窮し、医療費の自己負担に苦しみ、精神疾患だけでなく身体疾患の治療さえも十分に受けられない人達が少なくない。

昨年12月県議会に「石川県における精神障害者の医療費助成について」の請願を行ない、満場一致で採択された。しかし、医療費助成事業の実施主体は市町で、市町議会に対しても請願を行ない、県内全市町で精神障害者に対する医療費助成の実現を図りたい。

討論！ 学校施設のコロナ対策

議案第48号

令和2年度一般会計補正予算(第3号)

歳出 10款 教育費 2項 小学校費・3項 中学校費

原案に反対

夷藤 満

手洗いの大切さを教えることも教育であり、水栓をレバー式に変えてもコロナは全て防げないとの(執行部の)説明では納得できない。手洗いを指導することで済むなら、そうしたらよい。終えんが分からないコロナ対策にどれだけ予算が必要か見えない今、真に必要な事業の執行は認めることはできない。

原案に賛成

米田 一香

感染症のリスクをゼロにすることは不可能で、リスクを軽減することが重要な科学的根拠に基づいた「感染管理」と、暮らしの実情を踏まえた「経済施策」を、限られた予算内で早急に行っていくべきであり、町民が安心して暮らし続けていけるよう、ウィズコロナの時代へ向け必要な予算だ。

原案に反対

生田 勇人

コロナ感染対策上、小学校低学年の手洗い場水栓を、レバー式ではなく、自動水栓とし、密を考えひとつ置きに設置すべき。空間除菌噴霧器は、安全性から文科省から見合わせる等の内容が示されている。議案書記載内容の変更が無理なら、修正をして再度議会に示していただきたい。



※付託された文教福祉常任委員会での審議は6ページをご覧ください。

5月・6月会議で賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	十屋 克之	西尾 雄次	米田 一香	磯貝 幸博	小谷 一也	七田 満男	生田 勇人	恩道 正博	北川 悦子	夷藤 満	清水 文雄	中川 達	南 守雄
議案第48号 令和2年度一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	-	○

○は賛成、×は反対、-議長は採決に参加しません。

産業 建設 総務 常任 委員会

旧消防庁舎跡地の有効活用計画

賛成少数で再考へ

◎小谷一也 ○恩道正博 南 守雄
北川悦子 米田一香 土屋克之

令和元年6月、令和2年3月、そして今回の令和2年6月会議で議論。民間事業者から提案を受けた旧消防庁舎跡地への大規模商業施設立地計画の質疑応答がありました。

また、新型コロナウイルス対策のプレミアム付商品券、元気内灘住宅リフォーム助成金、上水道料金の基本料金減免などの詳細な説明を求めました。

新型コロナウイルス対策

問 元気内灘住宅リフォーム助成金の助成対象工事費を20万円以上としてはどうか。

答 検討の結果、前回同様50万円以上とした。次回、同事業を行なうことがあれば検討したい。

問 民有地の面積が町より大きく、利益誘導と取られないか。

答 町の地面だけでは、有効活用ができないと考えた結果で、そうではない。

問 保健センターや産業支援センターの駐車場が足りなくなる。

答 近隣の別の駐車場を考えた。

問 鶴ヶ丘5丁目の同類の商業施設が撤退しないか心配などの意見があるが、どう考えるか。

答 いただいた意見を踏まえて、考えていきたい。

問 水道料金の基本料金減免だが、アパートなどの入居者で、水道料金がかさむなど含まれている場合は、対象とならないのか。

答 町と給水契約を交わしている方が対象であり、対応する方法がない。

問 プレミアム付商品券の使用は、

スーパーでの使用が多い。中小業者の飲食店などに特典があるべきではないか。

答 中小事業者に対しては、今後の国の補正等を含めて、商工会とも協議し、対策を講じたい。



特別定額給付金を使う

福祉 教育 常任 委員会

学校コロナ対策で

一般会計補正予算案を否決

◎清水文雄 ○西尾雄次 夷藤 満
生田勇人 七田満男 磯貝幸博

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として小中学校にA-1体温検知カメラの導入や手洗い場水栓の改修費用等が計上された補正予算を巡って質疑応答がなされ、採決の結果、一般会計補正予算案を賛成少数で否決しました。(本会議では賛成多数で可決)

問 小中学校のレバー式水栓は、学校の手洗い場水栓全てを換える予算か。

答 全てではない。廊下についている児童生徒が最もよく使う手洗い場の水栓をレバー式に換えるものだ。

問 水栓と水栓の間隔は80cmほど、それを全部換えるのではなく、ひとつ置きに換えて、浮いた分の経費で低学年用を自動水栓に換える考えはないか。コロナは一度で終わるものではないので、自動水栓に換えていく基本的な方針が必要ではないか。

答 全部を自動水栓化するに越したことはないが、水栓数の確保も必要であり、経費が4倍ほど掛かる課題もある。トータルで考えた場合、子どもたちにしつけとして石鹸で洗って水を掛けることも指導していく中で、今は水栓の

数を確保する事にした。

問 他の学校でも予算のあるところは換わってきている。今、全部を換えられなくても今後の方針として、どうするのかを問うている。

答 検討したい。理想はそうだが、それ以外でもドアノブやいろいろな細かい点も出てくる。その一点だけではなく総合的に考えていきたい。

委員長 子どもたちの安全を第一に考えてほしいというのが各委員から出ている意見なので、今後、自動水栓を導入する計画を検討していただきたい。



小学校の手洗い場

町政も問う

一般質問 (6月11日)

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

7人が登壇

北川 悦子 8

- 新型コロナウイルス対策を問う
- 白帆台インターチェンジ開通にむけて安全対策を問う
ほか1問

清水 文雄 9

- 旧消防庁舎跡地への商業施設誘致について聞く
- 今後の内灘町新型コロナウイルス感染症対策について聞く
ほか1問

西尾 雄次 10

- コロナ禍で苦境にあるひとり親家庭への支援拡充を
- 「気候非常事態宣言」で環境のまちづくりを
ほか1問

米田 一香 11

- 町民の命と健康を守る体制（新型コロナウイルス感染症の町内での発生を踏まえて）
- 「Withコロナ」の内灘を見据えて

七田 満男 12

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

恩道 正博 13

- GIGAスクール構想の実現に向けた整備事業について
- エレベーターの二重ブレーキについて
ほか1問

小谷 一也 14

- 今年度の工事及び委託業務等の発注時期を早めよ
- 町独自の持続化給付金・支援金で町内業者を守れ
ほか1問



希空 (のあ)
12歳 ♀
トイプードル
鶴ヶ丘



きたがわ えつこ
北川 悦子

給付・配布はすべての人に

町長 きめ細かく迅速な給付に努める

問 コロナウイルスに関する町の対応策を問う。
 ① 1人10万円の給付申請、町無償マスク配布の受け取り困難者への対応。
 ② コロナと自然災害の複合災害に対応した避難所の在り方と対策を。
 ③ 国保の傷病手当金支給は個人事業主まで拡大を。
 ④ 学習の遅れの取り戻し、安心・安全な学校生活への対策と教員を増やせ。
 ⑤ PCR検査体制拡大を。

答 ① 民生委員、役場福祉部局と連携を図り、迅速な給付に努める。
 ② 国からの通知に基づき、感染対策の徹底と避難所内の換気、十分なスペース確保に努める。
 ③ 給与所得者に支給するもので、考えていない。
 ④ 夏季・冬季休業の短縮と感染対策を徹底。教員増も要望している。
 ⑤ 県は検体採取能力を1日2200件に拡大済み。



安心・安全な学校生活を

白帆台インターチェンジ

問 開通に向けて、住宅地内進入車両の安全対策は。また、住民説明会を計画しているのか。

答 白帆台中央部の交差点3カ所全てに信号機設置。歩行者の安全を図るため、歩道と車道を分離する防護柵を設置予定。案内看板を設置し、誤進入を防ぐ適切な誘導を含め安全対策に万全を期す。説明会は考えていない。

問 白帆台インター入口から内灘インター出口までが500mほどと間隔が短い。事故が心配。対策を問う。

答 道路の管理は県となるため公安委員会、県と協議を行なってきた。進入車両を知らせる合流注意の標識、インター出口を知らせる標識、路面標示での周知など開通までに安全対策を実施。



インター間は約500m

その他の質問

問 坂の町で高齢者は大変。荷物を置き、一休みできるベンチの設置を。

答 歩行者の安全な通行歩行空間確保が大事。設置は困難。



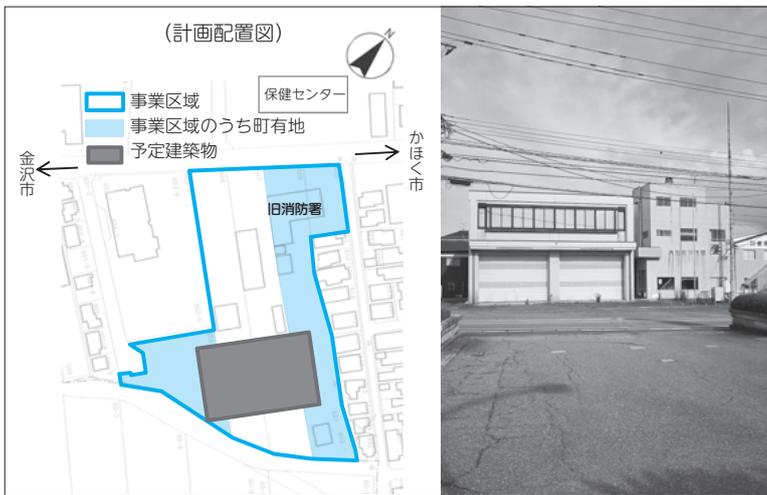
しみず 清水
ふみお 文雄

「利益誘導・利権」と見られないか

生活の利便性向上と土地の有効活用

都市整備部担当部長

一般質問



旧消防庁舎跡地

問 旧消防庁舎跡地への商業施設誘致は、民有地が含まれていることが問題だ。町に入る借地料は、年間千万円。民地所有者にも年間千万円以上の借地料が入り、その額は30年で3億円以上と試算されている。計画の在り方は、行政の民地所有者への利益誘導、利権と見られないか。なぜ無理やり民有地を絡ませた商業施設誘致なのか。

答 今回の事業者側から受けた提案は、町有地と隣接する民有地を併せて活用することで、不整形の度合いを軽減し、土地の有効活用を図るためのものだ。
今回の提案は住民の生活利便性の向上と土地の有効活用を図るものであり、町としては行政による民地所有者への利益誘導を行なうものとは捉えていない。

問 働く人たちが、特に非正規、ひとり親家庭の方々に光を当てる施策の充実が必要だ。財政的には、財政調整基金が今年度未見込み2億1200万円で、当町の適正額約5億円の半分にも満たないのが現状だ。今後、町民の生活に目を向け、新型コロナ対策に集中して取り組むための事業の見直し、予算の組み替えが必要だ。

答 ひとり親家庭に対する支援は、まだ足りないと感じている。今後、町民の経済状況を見て速やかに補正対応したい。
新型コロナ対策の財源は、国からの臨時交付金を活用する。併せて、執行予定の今年度事業も事業の中止や見直しなどを行なった場合には、予算の組み替えなどで対応したい。

新型コロナ感染症対策



子どもたちのためのマスク作り

問 今年、海水浴場は開設しないが、新型コロナ・海難事故・ごみ・防犯・駐車場の対策を示せ。
答 早期に内灘海岸安全会議で協議する。定期巡回、看板設置、防災行政無線放送で対策に務める。

その他の質問

コロナ禍のひとり親家庭に支援を



にしお ゆうじ
西尾 雄次

町長 さらなる支援策を検討する

問 平成28年度全国ひとり親世帯等の調査では、パート等の占める割合が父子世帯では6・4%に対し、母子世帯では43・8%を占め、年間平均就労収入は父子家庭398万円に対し、母子家庭200万円とほぼ半分だ。今般のコロナ禍は、概ねこういう状況下のひとり親家庭の家計を襲ったのだ。国施策とは別に町としての支援が必要だ。

答 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、町独自の支援策として18歳以下の児童一人当たりに1万円の給付と、ひとり親家庭に一世帯当たり1万円を給付する事業を実施している。国も二次補正で、ひとり親家庭への支援を盛り込んでいるが、子育てと仕事を独りで担うひとり親家庭には特に支援が必要だと考えるので、さらなる支援策を検討する。



コロナ禍での大きな課題

気候非常事態宣言

問 近年、地球温暖化による熱波・豪雨・旱魃・巨大台風等の極端な気候事象が頻発している。その原因は人間活動に起因する温暖化ガスの大量排出だとされている。温暖化対策は、国連気候変動枠組み条約から始まり、現在では**※気候非常事態宣言**で世界的に取り組みを進んでいる。この宣言を本町も行ない環境の町づくりを推進せよ。

答 地球温暖化に由来する気候変動は、今や世界的な問題だ。町では国連気候行動サミットの温暖化対策に関する理念の重要性も認識している。近年の台風・豪雨等の異常気象による災害増加は、生活に深刻な影響を与えているので地球温暖化への継続した対策が必要だ。「気候非常事態」の宣言は他自治体も参考にしながら調査研究する。

その他の質問

問 学校の新型コロナ対策として、救護に当たる養護教諭の着衣はどんな準備をしているのか。

答 使い捨て防護エプロンを着用することとし、小中学校には既に配置済みだ。

※気候非常事態宣言

2019年11月28日、欧州連合議会（EU議会）は欧州および世界全体が「気候非常事態」にあると宣言する決議を可決した。これに前後して欧米や日本の数多くの自治体が相次いで「気候非常事態」を宣言し、地球温暖化対策への取り組みを加速させている。



球磨川が氾濫した人吉市街
『2020年7月4日付 日本経済新聞電子版』



よねだ かずか
米田 一香

予防接種控えることないよう啓発を 積極的な接種勧奨に努める 保険年金課担当課長

一般質問



コロナ禍でも予防接種に行きましょう

問 現在、新型コロナウイルスのワクチンが待たれているが、何事も予防が大切だ。今年度の今後の健診・検診事業、予防接種事業の計画は。また、「子供の予防接種に行っていないか」「行きたいが病院に行くのが不安」との声がある。控えることがないよう、必要なときに必要な行動がとれるよう、町民への啓発が大事だ。町の考えは。

答 各種健診は感染症対策を講じ6月より順次実施する。案内時間の分散、集団健診に予約制を導入し所要時間短縮を図る。予防接種の総件数は昨年同時期より大きく落ち込んでいる。今後も新たな感染症が発生する可能性があり、現在の予防接種でこれまでの感染症に対する免疫をつけておくことが必要と考える。積極的な接種勧奨に努める。

新型コロナウイルス

問 長期的見通しと町民の命と健康を守る体制は。

答 ワクチン等の開発が世界中で進められているが、完成まで時間を要し、収束には時間がかかる。感染症の第2・3波を最小限に抑えるためにも、今後町民の皆様には国が示す**※新しい生活様式**を参考に予防を継続していただき、町も情報収集と予防の周知を継続する。

問 新しい知識を持つこととは、未知のウイルスに對しての不安を軽減する。感染は自己責任ではなく、社会全体の課題との認識が優しい地域の対応につながる。町の姿勢は。

答 感染は、誰にでも起こり得るものであり、感染された方やその家族及び医療従事者の方々に對する差別や偏見につながらないように努める。

(3) 日常生活の各場面別の生活様式		
買い物 <input type="checkbox"/> 通販も利用 <input type="checkbox"/> 1人または少人数ですいた時間に <input type="checkbox"/> 電子決済の活用 <input type="checkbox"/> 計画をたてて素早く済ませ <input type="checkbox"/> サンプルなど展示品への接触は控えめに <input type="checkbox"/> レジに並ぶときは、前後にスペース	公共交通機関の利用 <input type="checkbox"/> 乗車は控えめに <input type="checkbox"/> 混んでいる時間帯は避けて <input type="checkbox"/> 徒歩や自転車利用も併用する	食事 <input type="checkbox"/> 持ち帰りや出前、デリバリーも <input type="checkbox"/> 屋外空間で気持ちよく <input type="checkbox"/> 大皿は避けて、料理は個々に <input type="checkbox"/> 対面ではなく横並びで座ろう <input type="checkbox"/> 料理に集中、おしゃべりは控えめに <input type="checkbox"/> お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて
娯楽、スポーツ等 <input type="checkbox"/> 公園はすいた時間、場所を選ぶ <input type="checkbox"/> 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用 <input type="checkbox"/> ジョギングは少人数で <input type="checkbox"/> すれ違うときは距離をとるマナー <input type="checkbox"/> 予約制を利用してゆったりと <input type="checkbox"/> 狭い部屋での長居は無用 <input type="checkbox"/> 歌や応援は、十分な距離がオンライン	イベント等への参加 <input type="checkbox"/> 接触確認アプリの活用を <input type="checkbox"/> 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない	

チェックしてみよう！新しい生活様式
『日常生活の各場面の生活様式：厚生労働省HPより抜粋』

※新しい生活様式

飛沫感染や接触感染対策をこれまで以上に取り入れた生活様式。従来の生活では考慮しなかつたような場でも心がけることで、新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種の感染症を防ぐことができ、自身や、大事な家族・友人・隣人の命を守ることにつながる。

実践例

- ・できるだけ人との距離は2m(最低1m)空け、会話は真正面を避ける
- ・人との間隔が十分とれない場合はマスクを着用(夏場は熱中症に注意)
- ・家に帰ったらまず、水とせっけんで30秒程度かけ手洗い
- ・咳エチケットの徹底
- ・こまめな換気
- ・3密(密集・密接・密閉)回避
- ・毎朝の体温測定や健康チェック

各町会・公民館へ衛生用品の支援を

教育部長 今後検討したい



しちだ みつお
七田 満男

答 体温測定器は12カ所の各公民館で独自に購入または購入予定。備蓄用マスクや消毒液は、町から自主防災組織への配布を予定している。各公民

問 各町会、公民館へ体温測定器やマスク、消毒液の備蓄購入費用を支援せよ。また、衛生用品購入費、空気清浄機やセンサー付自動水栓などの整備費を助成せよ。

答 地域経済活性化、消費喚起を図る目的で、プレミアム付商品券の発行や住宅リフォーム事業助成金の予算を提案している。町職員は、うちなだエール飯に参加店のテイクアウトを順番に利用。

問 館への衛生用品の助成は今後検討したい。
答 町独自の景気支援対策を早急に講ずるべき。



コミュニティ活動前にも体調自己確認（旭ヶ丘公民館）



間隔あけて いってらっしゃい

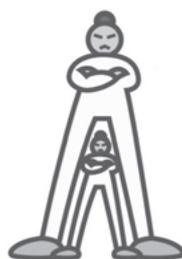
問 子どもや保護者にとって不安の中での学校再開だ。感染予防対策を示せ。また、熱中症対策は。

問 現在、スーパー・ドラッグストアの売り上げは1・2倍に増えている。プレミアム商品券の使用を飲食店や小さな店に限定せよ。

答 衛生管理の徹底や三密の回避、教室の換気や身体的距離の確保などの対策を徹底している。
問 公平性の観点から限定は難しい。

問 休校時、自宅でオンライン授業は。
答 実施に努めたい。

答 熱中症予防として、教室内を適温に保ち水分補給を指導。体育や登下校時、三密回避を前提にマスクはしなくてもよい。



大橋兄弟

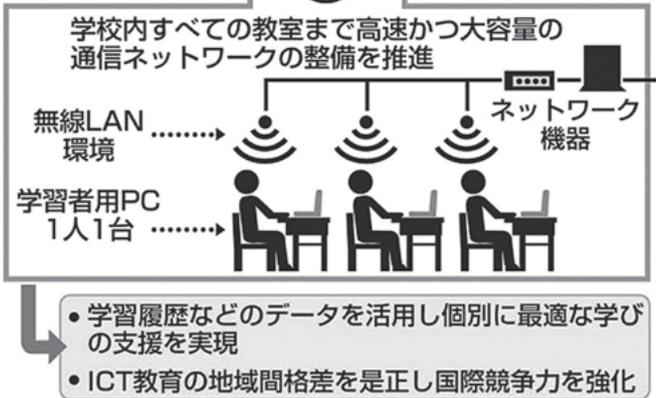


おんどう まさひろ
恩道 正博

教育のICT化スケジュールは タブレットの導入を9月補正に計上 町長

一般質問

学校のICT化のイメージ



豊かな創造性の育み

問 教育のICT化（※GIGAスクール構想）実現に向けたハード及びソフトウェアの整備内容と今後のスケジュールは。ICT化で教育現場が劇的に変わることが予想されるが、児童生徒の学びの支援策と先生方の役割や指導体制は。児童生徒や先生方の期待される教育効果とデメリットはどのように考えているのか。

答 現在、高速ネットワーク整備を進めている。児童生徒に1人1台のタブレットの導入を9月補正に計上したい。児童生徒の創造性を育むための情報活用能力の育成に向け、ICT支援員を増員し、教職員の資質及び指導力の向上に組織的に努める。個々の情報活用能力が育まれる。端末機の更新時の経済的負担が大きい。

問 町庁舎のエレベーター3基は※二重ブレイキ（戸開走行保護装置）に改修されているのか。その他、公共施設のエレベーターの基数と二重ブレイキに改修されている基数は。また、県内自治体の二重化の改修率は。エレベーターは不特定多数の方が利用するので安心・安全のため早期の改修が必要だ。

エレベーターの二重ブレイキ化

答 庁舎の3基は未改修。平成10年設置で違法ではなく、毎月法定点検を実施し安全に努めている。エレベーターはその他、文化会館、ほのぼの湯、サイクリングターミナル、学校などに7基設置されており、未改修は3基。県内では県庁を含めた15庁舎のうち4庁舎で改修を終え、改修率は26%。今後、計画的な改修を検討していきたい。



安全性確保策の推進を

※GIGAスクール構想

教育のICT化実現に向け文科省は、児童生徒1人1台端末機の実現を令和5年度までに小中全学年での達成を目指したGIGAスクール構想の実現パッケージを令和元年12月に発表した。町では今年度は小中学校7校で校内通信ネットワーク整備工事を進める。

※二重ブレイキ化（戸開走行保護装置）

平成18年に東京都港区の共同住宅で、男子高校生が死亡したエレベーター事故を教訓に、平成21年9月以降の着工分に設置が義務付けられた。それ以前のものは対象外で全面的な撤去、改修、新設を行なうまでは二重ブレイキの設置義務はない。国交省は、安全性確保のため、設置促進をしている。



こたに かずや
小谷 一也

工事と委託業務の発注時期を早めよ

町長 早期の発注に努める

問 新型コロナウイルスによる建設業界への支援対策として、公共工事を早急に発注し、町の早期の経済復活・活性化を促すために、町発注の工事及び調査設計、管理などの委託業務の発注を早めよ。
景気対策として、町内の公共施設を再点検して危険箇所の修繕工事など工事発注量を増やしてはどうか、景気再生のために検討せよ。



鶴ヶ丘交差点拡幅工事中

答 工事や委託業務の発注時期は、その業務の優先度や時期等を考慮した公共工事発注計画に基づき進めている。
今後、発注時期は、再度見直しを行ない、できるものは早期の発注に努める。
町の工事の多くは、国の交付金を活用し行なっており、国の動向を注視し、財源の速やかな確保に努めていく。

町内業者の救済措置

問 飲食業などの休業要請は解除されたが、以前のような人の流れに戻るには、葉やワフチンができるまで無理だと思う。
石川県市町村振興協会より、宝くじの収益金を原資とした基金から町には3800万円が分配される。
この交付金を活用して町独自の手厚い給付金、支援金等で町内業者の救済措置を図れ。

答 地域経済の活性化、消費喚起を図る目的で、プレミアム付商品券の発行や住宅リフォーム事業助成金の関係予算を計上しており、石川県市町村振興協会からの交付金等を活用する。
国、県の経済対策を注視し、町内の中小企業者や小規模事業者の経営安定と地域の景気対策は、町商工会と連携し、有効な対策を講じたい。



ソーシャルディスタンスを取っている店内

その他の質問

問 公民館個別施設計画策定では、手つかずの施設の修繕を優先に。

答 老朽化の激しい箇所は、順次修繕を行なう改修計画を立てる。

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

室・西荒屋地区の「なだバス」の利便性向上を

室・西荒屋地区は新しいダイヤ改正で日常の買い物などの利便性が大きく損なわれた。誰もが生活しやすいようにバス運行時間を見直せ。

令和元年6月会議

西尾 雄次

答 弁

公共交通の充実は大変重要

地域住民の足となる公共交通の充実は大変重要なことだ。ダイヤ改正で昼間バスの便数減や一周当たりの所要時間が長くなったので今後ルートの見直しを行なう。

その後

令和元年11月「生活お助け便」の実証運行を開始

日常生活の利便性向上を図るため、毎週、月・水・金曜日に西荒屋・室地区から内灘駅まで「生活お助け便」を実証運行中。南部地区の商業施設や役場、内灘駅などを結び、地域住民の交通ニーズの調査を行なっている。



本当に助かっています

河北潟防潮水門の移設でマリソレジャーの活性化を

河北潟地区国営事業計画では防潮水門を河北潟方向に移設する計画と聞かすが、それが実現すれば現在の水門跡区域ではマリソレジャーの利活用が可能になるのではないか。

平成28年9月会議

中川 達

答 弁

国に要望したい

指摘のように河北潟防潮水門の河北潟寄りへの移設が出来れば、その跡地を利用してヨットハーバー的なものにも使えると思うので国に要望したい。

その後

令和2年6月議会に農地防災事業概要を報告

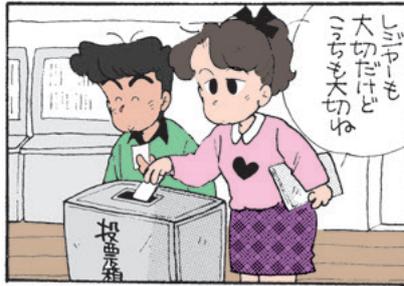
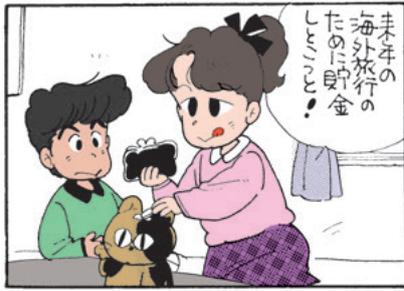
北陸農政局河北潟周辺農地防災事業所から町議会に令和4年度から8カ年計画で河北潟防潮水門を河北潟寄りに移設する工事が実施されることになったと報告がなされた。



河北潟防潮水門の移設予定イメージ



あなたの一票が大切



議会傍聴のお知らせ

9月会議の一般質問は9月3・4日 午前10時からです。

傍聴席の間隔を空けるため人数には制限があります。入場時はマスク着用・手指消毒・検温にご協力ください。一般質問の様子はケーブルテレビでご覧になることができます。

議会事務局 TEL286-6715

突撃!

街かどインタビュー

町の団体シリーズ⑨

今回は鶴ヶ丘神社の境内でラジオ体操をされている皆さんの中心者である鶴ヶ丘の井上正好さんにお伺いしました。



◆ラジオ体操をする、きっかけは。

○退職して1年ほど、なんとなく過ぎていましたが、毎日きちっとした生活をしていきたいと思い直し、ある日、ここでラ

ジオ体操できたらいいなあと感じました。

◆何年になりますか。

○平成27年2月24日から5年5カ月になります。

◆何処から何人くらい集まっていますか。

○遊歩道を散歩しながら6時30分がけて、多い日で40人くらいですかね。今日は雨模様ですし、20人くらいでした。

◆ご自身のこと・町のことなど自由にお聞かせください。

○終わった後は、おしゃべりで、お口の運動です。

○健康第一ですよ。顔、見てください。

○木の銘板は、いつでもできますか。楽しみです。

○ごみを捨てないようにお知らせしてください。

○内灘町でいい場所といえば、この遊歩道とサンセットブリッジだね。

○境内のベンチ、危ないから替えてよ。

◆人生のモットーを教えてください。

○今日一日、一人でも多くの人と出会い、ふれ合いを大切にしていきたい。人と会うことは、非常に難しい。自分から求め続けたいです。



◆今から子どもたちの見守りがありますからと、後片付けをする姿は、一生懸命に生きる見本となりました。ありがとうございます。

インタビュー 土屋克之

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の「第二波」が懸念されるなかで「6月会議」が開かれた。審議されたのは「第一波」で打撃を受けた個人や事業者への支援策や「第二波」の到来に備えた感染拡大防止策などであった。

一般質問も7名すべてがコロナ関連の質問をするなどコロナに席巻されたような議論の場となった。

内灘町議会に限らずコロナは世界中を席巻した。イタリア人作家パオロ・ジョルダノは、著書『コロナの時代の僕ら』で「僕は忘れたくない。今回のパンデミックのそもその原因が秘密の軍事実験などではなく、自然と環境に対する人間の危うい接し方、森林破壊、僕らの軽率な消費行動にこそあることを。」と記したが、コロナ禍の真因はそこにあるのかもしれない。

広報対策特別委員会

- 委員長 土屋 克之
- 副委員長 米田 一香
- 委員 恩道 正博
- 委員 小谷 一也
- 委員 西尾 雄次

1部あたりの単価は34.72円です。

